

会津若松市婦人団体連絡協議会

収支決算書 (補助金を含む収支)

収入 (一人当たり)

- 自己負担額 21,100円
 - 補助金 2,900円 (対象経費 \times 1/2)
- 計 24,000円 \times 6名

支出 (一人当たり)

- 交通費 (高速バス) 5,800円 (往復)
- 大会参加費・宿泊費等 18,200円

計 24,000円 \times 6名

会津若松市婦人団体連絡協議会

男女共同参画社会づくり推進活動事業成果報告書

第5回北海道・東北7ブロック地域団体研究大会講演会への参加事業

日程 平成27年9月15日・16日

場所会場

宮城県仙台市

仙台サンプラザ

仙台サンプラザホール

参加人数 670

テーマ

「今・取り組むべきこと」
次世代に任せる・地域防災の輪

第1日

9月15日 仙台サンプラザ

○ 問題提起研究協議

○ 講演 1. 演題 「ガス屋敷から見た防災」

2. 演題 「自然災害に備える環境が」

「東日本大震災から学ぶこと」

第2日

9月16日 仙台サンプラザホール

○ 講演

演題 「結核について」

「次世代に任せる・忘れはならない」

感染症の情報を」

研究協議・講演からの成果報告書

- 防災において男女共同参画の視点が如何に重要な
防災を女性の視点で考へる → 次世代に伝へる
- 災害の事案を別の形に後世に伝へていくことが
「助けられる人」から「助け人」への意識をもつ
- 定期的な訓練
 - ・ 炊き出し訓練の重要性
- 次世代に伝へいく防災に対する取組み方
「次世代に伝へる」地域防災の輪
- 防災士とは (防災士について学ぶ)
職場や地域での避難誘導、人命救助等 率先に
行ったり、保存会の保管方法、天気図の読み方、
防災グッズの管理、避難所の運営にあたり守るべき
期待される。
- 小規模防災グッズの準備
- 心の問題 (P.T.S.D) の対処方法
地域の絆 津波の経験を後世に伝へる
- 男女共同参画の視点から
 - ・ 災害時の女性のトイレ設置について 敷地配慮が
必要と行政が動き出した。

・地域防災について

・次世代への伝達 - 今いる人に役割を与えて地域に参加させる
後継者を作るために

・系統について

前例を作り実践していくと新しい視点で取組
環境を改善していく → 外資系社会と
具体的に小・中・高 一歩の積み重ね

・何をどうやるかを具体的に示す 炊事・訓練

・備蓄について

女性への武器を教える

↑ 継続は力なり +

↑ 明日の元氣は前向きに +